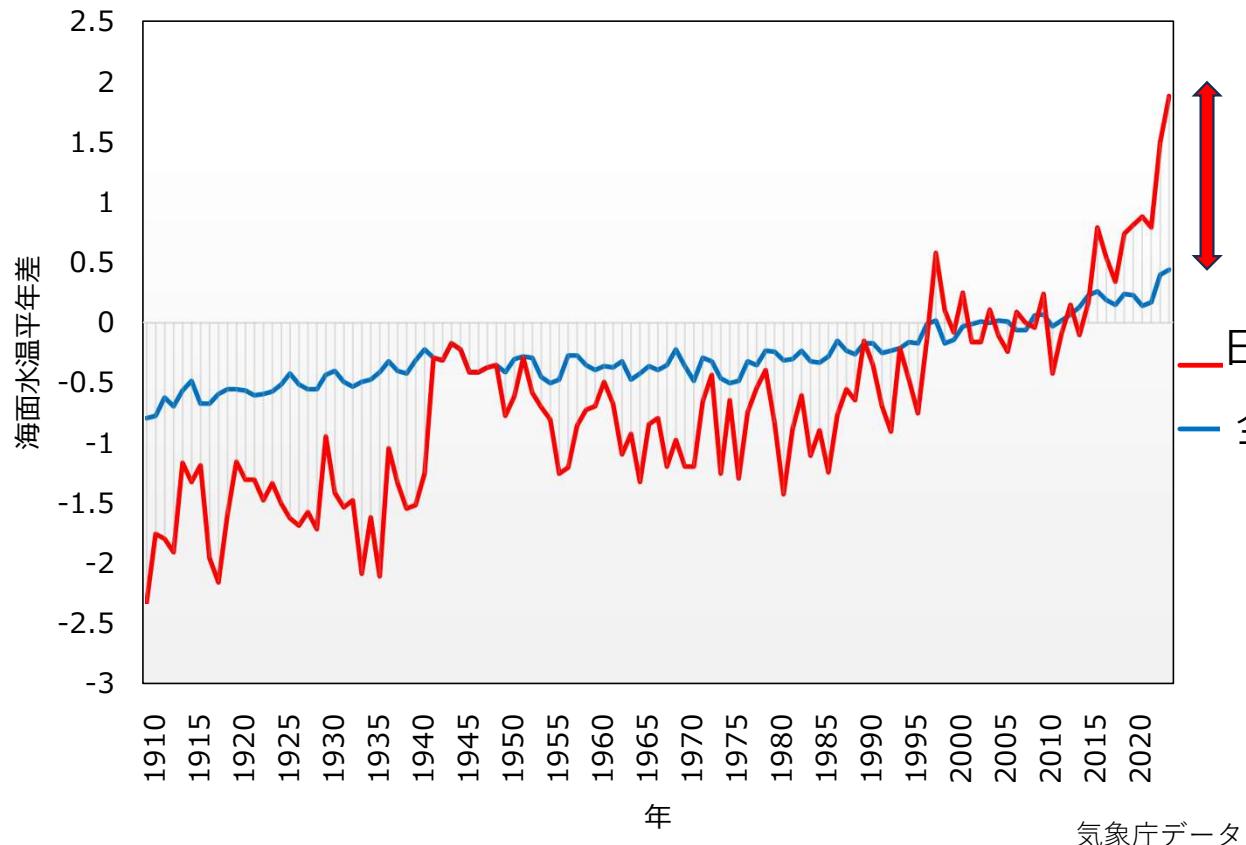


海洋環境の変化に対応した漁業の在り方 対象魚種の多角化の取り組み

水産研究・教育機構 開発調査センター
加藤慶樹

海面水温の長期変化傾向

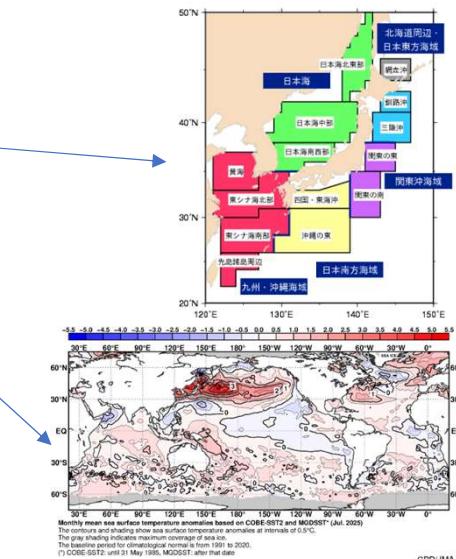
(1991～2020年の平均値との比較)



日本近海の変動が大きい

日本近海

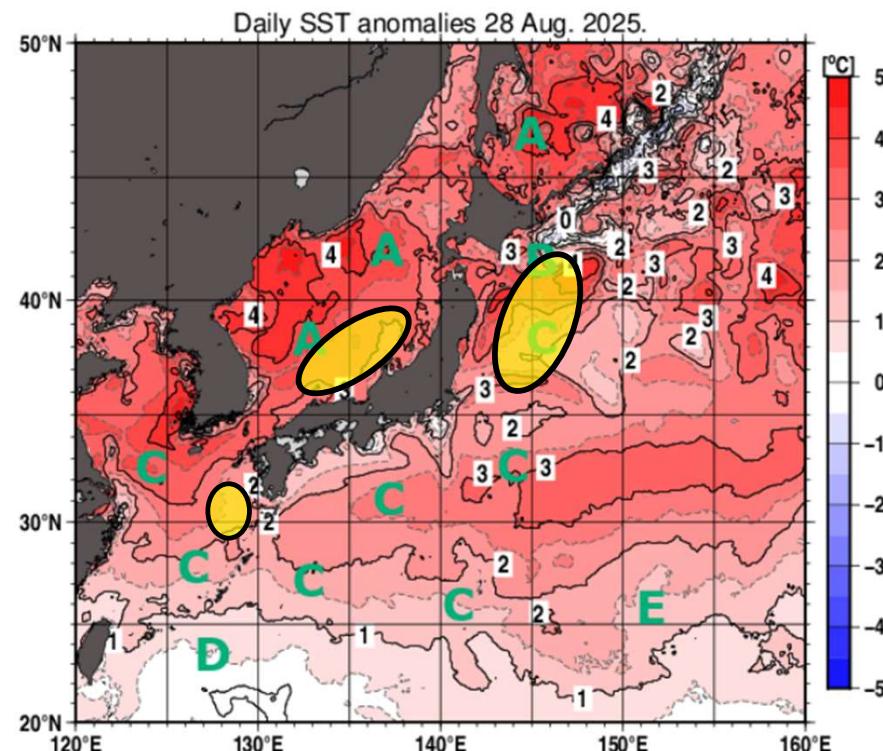
— 全球



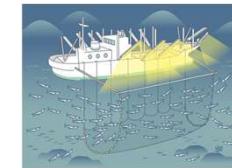
日本各地の漁業現場で起きている変化



日本海高温化→スルメイカ釣り
漁獲減少、秋田県沖ではハタハ
タ漁獲減少、暖水性魚類（シ
イラなど）増加

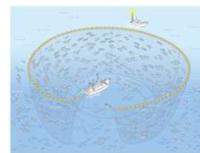


気象庁データ



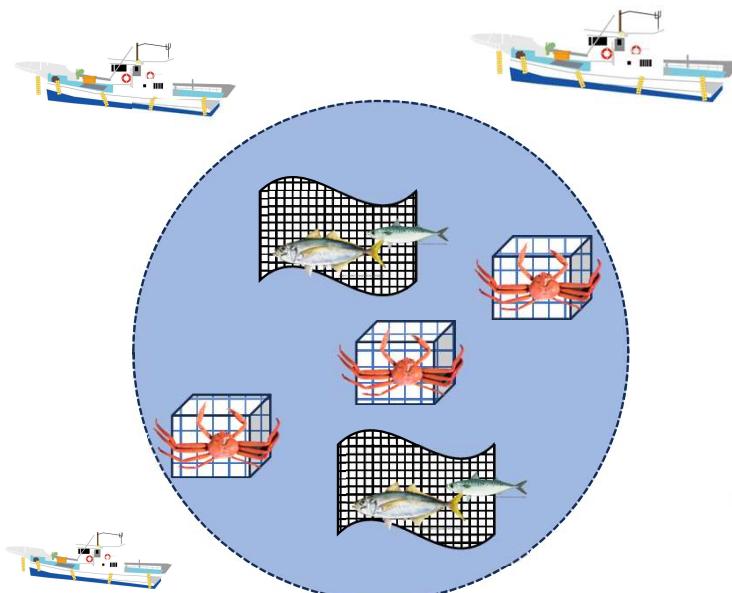
道東から東北沖の高水温化
→サンマやサバなどの漁獲量
減少、暖水性魚類（ブリ、マ
ダイ、タチウオなど）増加

東シナ海は2016年頃から流
速の上昇と不規則な変化
→まき網の操業回数減少

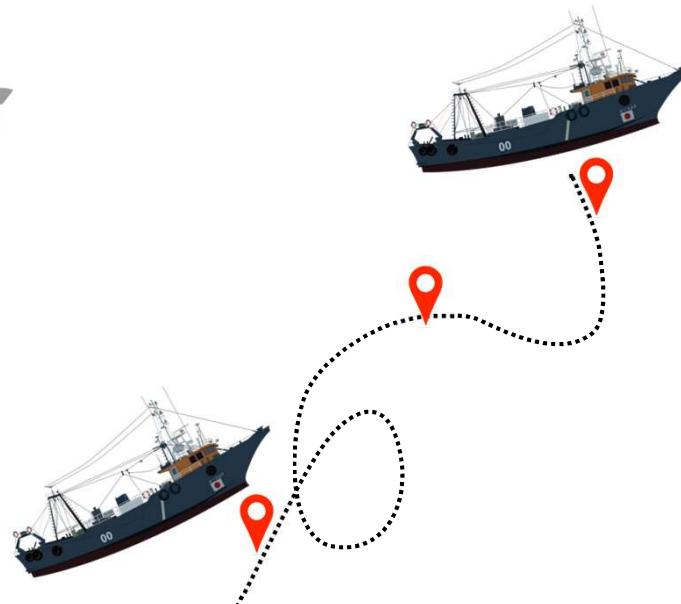


気候変動に対応する漁業の適応策

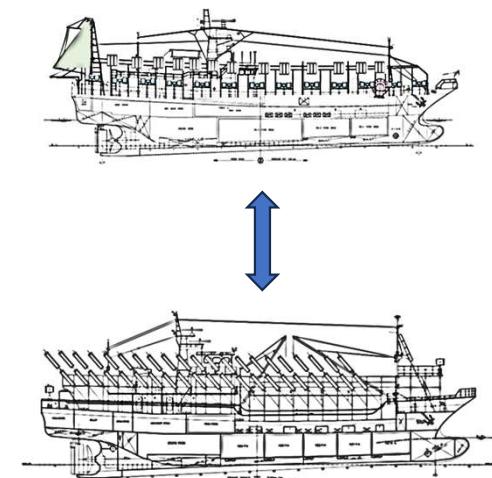
**A 漁場を変えず
対象魚種or漁法を変更する**



**B 対象魚種or漁法を変えず
漁場を変化させる**



**C 対象魚種or漁法も漁
場を変化させる**



Samhouri *et al.* 2024を改変

<https://doi.org/10.1371/journal.pclm.0000285.g002>

海洋環境の変化に適応する漁業の在り方

| | 事例 | 導入コスト | 収益性 | その他 |
|-------------------------------|------------------|----------------------|----------|---|
| 漁場を変えず 対象魚種or漁法を変更 | ホッコクアカエビ ドスイカ | 低 0~100万円 | 低 | ・ローカルな漁業で可能 ・生態系の構造に関する研究が必要 |
| 対象魚種or漁法を変えず 漁場を変更 | スルメイカ アカイカ | 中 1000万円程度 | 中 | ・旋網などの中大型船で応用可能 ・漁場予測などの研究が重要 |
| 対象魚種、漁法も 漁場も変更 | サンマ アカイカ | 高 1億8千万円程度 | 高 | ・資本力のある経営体で応用可能 ・操業許可の課題もある ・船体構造の研究が必須 |